

開運成就 粟生聖天

真言宗 智山派

定福寺だより



上段左から▼水天(西)・火天(東南)・閻魔天(南)・羅刹天(西南)
 中段左から▼帝釈天(東)・伊舎那天(東北)・月天(月)・日天(日)
 下段左から▼地天(地)・梵天(天)・毘沙門天(北)・風天(西北)

十二屏風 仏師・牧有恵 師(高さ1m・二曲一双)

蓮咲くは
 笑い地蔵の
 在す寺

新四国曼荼羅霊場第六十一番

2025年64号 きのとみ 乙巳

皆様におかれましては、日々ご信心で定福寺にご高配を賜りありがとうございます。昨年のご挨拶で、気候変動について触れさせていただきました。その定福寺だよりを皆様にお届けさせていただいた2024年の夏は、猛暑という言葉では表現できないような暑さでした。空調ファン付き作業着を着ていても、10時以降には外作業が危ないほどの気温になっていました。11月になっても暖かい日が続き、紅葉の色づきにも変化がありました。また12月でも暖かい日があり、これまでの感覚を改め、適応しなくてはならなくなってきました。定福寺でも冷房を設置し、扇風機を併用しながら、また除湿器など様々な機器を使用し、活動を行なっています。私たちは自然環境や社会環境に合わせて、少しずつ様々な物を変化させ、生活をしていることに気づかされます。明治時代には行政が大きく変化し、郡道や国道の整備が行われました。大豊町でも道が徐々に整備されてきました。道ができることにより新たな流通が生まれ、新たな価値観を獲得することになりました。道の影響で地域によって人口の増減があり、生活が変化したことは先人からお聞きのとおりです。些細な変化が積み重なり、時間を経て振り返ってみると大きな変化となり、もとの姿ではなくなっていることも多々あります。また、物事が変化してしまっただけでは、変化したことすら知らずに日常生活をおくっています。

かつてお葬儀は各家で行われ、地域の人々の手により準備を行なっていました。人口の減少や様々な理由から、葬儀をお手伝いする人々が誕生し、葬祭場ができました。葬儀場所が変化することで、いくつかの儀式は省略されることとなり、葬儀に対する価値観や感覚が変化してきました。「変化」は、「もとの姿」と「現在の姿」という比較があつて初めて感じる事ができます。「もとの姿」は比較する際の基準となるものです。基準を何にするのかで、変化は異なります。

以前もお伝えいたしました。正座は日本の正しい座り方とされ、礼儀正しい座り方と一般的に解釈されています。なにより「正座」という言葉が、「正しい座り方」と書いているので、日本の正しい座り方と思

てしまいます。明治時代以前の僧侶の経典類には「正座」という言葉は登場いたしません。「かしこまる」や「堅座」とあります。そして「堅座」は日本の略式の座り方につきすべきでない」とあります。私たちは仏さまの前で修法をする際は、正座をいたしません。私は二体の仏さま以外、正座をされている方は存じ上げません。千利休や本居宣長も初期に描かれた自画像では正座をしていません。座り方に関しては、変化した後の「正座」という言葉から、それが日本の座り方の特徴だと考えている人も多いと思います。私もそのように思っていました。

どこに基準を置くのか、何を大事にするのかによって結果が違ふという事は、人のそれぞれの思いや価値観・考え方により物事の変化の仕方が違うということです。私は僧侶となり、会社に勤めていた時とは基準が変化をいたしました。物事の捉え方が、大きく変化をしたと思います。定福寺では四十九日の法要は、三十五日か四十九日にいたしてお

す。土日にはならないことが多々あります。四十九日のお話はいつもお伝えいたしておりますのでここでは省略いたしますが、それも定福寺が考える「もとの姿」を基準とした行動です。ご理解をいただければ幸いです。「祈り」もお寺も時代と共に変化をすること、変化させないことがありますが、その時代の住職の考えがお寺に強く反映されることは想像

本居宣長像



に難くありません。これまでの事を重要だと感じ、変化させずに続けることは大変なことです。一方で、新しいものを取り入れることや新しいことに取り組むことも、大変な勇気と労力、孤独な決断、決断を支えるための学びや情報収集が必要になります。特にお寺では先師たちの考えや先人たちの記録を知ること、とても重要な作業になります。2024年度から高知城歴史博物館と高知県の協力のもと、定福寺の古文書調査が始まりました。史料が多く、数年はかかると考えています。昨年12月、真言宗智山派東京別院の真福寺に定福寺の古文書の記録が残

されていることを知り、拝見させていただきました。そこにはご法事の様子、永代供養の様子、お寺の田畑などの土地やお金の貸借の様子、ご寄付の様子なども記されていました。このような記録からお寺がどのような役割をしてきたのか、定福寺の先師たちは何を大事にしながらお寺を守って来たのか、発展させてきたのかを知ることができます。

定福寺の何よりの宝であり、大きな柱は「引き継がれてきた祈りの姿」だと考えています。ひたすらに祈りを中心に考え、それらを引き継いできたことにあります。先師により多少の違いはあれども愚直なまでの祈りの姿を感じることができます。

僧侶の祈りには、身体と心を使うご祈祷や修法などがあります。それらをどのような気持ちで、どのような方法でするのかを指し示しているのは経典類です。つまり先人から書き記されてきたものです。必ずその意味と方法が書き記された物があり、行動があります。「理論と実践」が重要になります。仏教が伝える大事なことの一つが「身口意」です。身は体、口は言葉、意は心です。言動は心から発せられ、心はさまざま習熟（教えや経験を自分の中に取り込み習慣にする作業）により鍛えられ、言動に変換されます。言動が物事を変化させたり、または変化させないことになります。

感染症拡大以降、これまで苦手だと思っていたことを始めました。Facebook やインスタグラムなどのSNSです。この些細な変化が、お寺に新たな変化をもたらしました。SNSを見た大歩危を訪れた外国人観光客の方々が、定福寺まで足を延ばしていただけるようになってきました。特に多いのは台湾や香港からの方、時々欧米の方々です。目的は定福寺



真福寺所蔵 定福寺古文書



の文化財ではなく、豊永郷の風景や草花を楽しむにいられています。そのため439号線沿いの第三駐車場から定福寺までの石段や通路の整備や畑を始めました。せっかくお越しいただいたので、定福寺の歴史や文化、豊

永郷の人々のことも知っていたため、英語・繁体語（台湾）・簡体語（中国）のパンフレットと看板を文化庁の助成金を利用し作りました。外国からの旅行者は、現金ではなくキャッシュレス決済（QR決済やクレジットカードなど）を使用する方が多いことがわかりました。定福寺はこれに対応するために2023年12月から設定作業を私が行い、2024年度から使用することが可能になりました。その結果、お寺の永続米、節分の星祭護摩祈祷、お彼岸、土砂加持、聖天尊浴油祈祷などがネットからお申込みいただけることになり、ご祈祷料をお納めいただくこともできるようになりました。聖天尊浴油祈祷などでは県外の方が定福寺のホームページからお申込み、お納めいただく方も増えてきました。お気づきになりました。定福寺がSNSを始めることで、外国人の来館が増え、キャッシュレス決済がはじまり、皆さんがキャッシュレス決済を利用できる環境となり、定福寺の御祈祷やお祈りが県外からのお申し込みも増えてきました。些細な変化が大きな変化になったとも考えられます。また2025年度中には、本堂までスロープを設置する予定です。現在は本堂の靴を脱ぐ場所近くまでは、階段なしで上がることができています。このような変化が、定福寺に何をもたらすのかは、もう少し先にならないとわかりません。その時に継続か中止の判断をしたいと思っています。

様々な変化はその時代の人が、現在ある物事に関して何らかの疑問を感じ、そこに光をあて広く観ようとしなければ起こらないことです。またその変化を進めるのか止めるのかは、各人のこれまで感じたこと積み重ねて来た経験が蓄えられた「心」に依存します。仏教は「心」や「自分と社会の関係」について問い続けて来た宗教です。

このように「祈り・学び・集える」場である定福寺があるのは、定福寺の檀信徒の皆様、定福寺を訪れてくださる皆様、定福寺を思ってくださいる方々のお陰様です。皆様が一日安心して生活できますようにと、長老と二人毎朝7時より本堂でお祈りをさせていただきます。朝の勤行はどなた様でも参拝いただけます。皆様日々安心して過ごさなければと思います。



石段横の散策道

講堂建設の件

皆様におかれましては、講堂建設の為に様々にご協力を賜り大変感謝をいたしております。現在皆様からご寄付を賜りました金額は、87,371,232円です。建築総額は1億5千万円以内ということで、なるべく1億円に近い金額にできないかと検討を重ねてきました。できた設計図から見積もりを出していたらと資財の高騰により2億円近くかかるということがわかりました。それでは建設ができないということで再度設計し、全てで1億3千万円強ということになりました。もちろん資材の質を落とし、それにともない設計をやり直すことで建設は可能になりますが、設計士さんとの話し合いにより、建物がお堂ではなくなってしまう危険性、お堂として長年使用できる可能性が低くなることなどを考慮し、この設計図がぎりぎりの設計と資材ということになりました。元々、ご寄付だけでは不可能だと考えておりましたので、寺族一同6年前より給料を下げお寺からの支出が減るように対応をしています。

現状は借り入れをする準備をこの1年半県内外の銀行、政策金融

公庫などと話し合い、また企業さんにも趣旨を理解いただき、ご協力いただけるように各所をまわっています。



解体工事の済んだ講堂建設予定地

現在大詰めではありますが、調整を続けている最中ですが、御心配をおかけいたしております。2025年度中には建設着工できますように取り組んでいます。もしばらくお時間をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。お問い合わせは、お問い合わせ先へお願いします。



講堂寄付納入QR

境内整備の件

●土佐豊永万葉植物保存会との共同作業、会員募集

定福寺では、定福寺に事務局を置く土佐豊永万葉植物保存会と協



往還道の整備 (砂利を敷き散策しやすくしています)



保存会の活動風景

動を行いません。か。会費は1,000円です。機関誌も発行いたします。

●多言語化

以前、定福寺にユースホステルがあった時には、多くの外国人が訪れていました。現在はSNSなどの影響もあり、また少しずつ外国からの旅行者が増えてきました。それに伴い定福寺・土佐豊永万葉植物園・豊永郷民俗資料館合同のパンフレットを制作し、英語、繁体語(台湾・香港・マカオなど)、簡体語(中国)など多言語化にいたしました。また本堂と持仏堂前



土佐豊永万葉植物保存会会費納入QR

力し、境内を散策できるように整備をいたしております。皆様も土佐豊永万葉植物保存会の会員になり一緒に整備や保全活



台湾からの観光客

に看板を立て、多言語対応にいたしております。2025年度中には助成金の申請を行い、宝物殿も多言語化になる予定です。

●石段の修復

旧国道から上がる階段の右側石垣が、膨れ草の根で崩壊が免れる状態になっていました。この石垣の工事を第三駐車場の石垣をついでくださった高知城の石垣の工事にも携わった森様をお願いいたしました。

●第三駐車場の整備



定福寺第三駐車場周辺整備

第三駐車場から定福寺まで距離があり大変です。途中で草花を散策したり、休憩できる場所を準備中です。

定福寺での講習会

定福寺と高知市内の真言宗高野山派高野寺様、窪川の真言宗智山派岩本寺様の三ヶ寺で作った勉強会「劫究会」で本山の常在阿闍梨大森

真弘僧正をお招きし2024年11月28日高知市内の定福寺旭観音堂で結縁灌頂について学びました。翌日の11月29日には定福寺に愛媛、高知の青年会員が12人集まり、二箇法要の練習を持仏堂で行い、法要を本堂で午後から執り行いました。定福寺は「祈る場・学ぶ場・集う場」であると日頃お話をさせていただいております。定福寺を学ぶ場を選んでいただいた、高知青年会会長の金蓮寺住職様に感謝です。



十二天屏風完成

種字曼荼羅と十二天屏風 御寄進のお願い

古文書の整理や年末年始の重点的な仏具磨きをしていますと、ご寄進をいただいた人々の名前が記されていることに気づきます。現在の豊永郷では見当たらない姓の方もいます。多くのご縁によって定福寺が支えられてきたと感じます。

この度好機をいただき、十二天屏風と種字曼荼羅の製作を行なっています。これらはかつて定福寺に存在していたものですが、明治時代の祝融によって焼失しました。これらは「灌頂」という義式には

欠かせない支具です。この二つが定福寺にあったということは、定福寺で灌頂の儀式が行われていたことを示しています。講堂が完成した際には、結縁灌頂を定福寺で執り行いたいと考え、現在有志によって勉強会を行なっています。結縁灌頂を行うことが私の長らくの願いでした。そして十二天屏風と種字曼荼羅は、私が智積院での修行時代に御教授を賜った、写仏の先生で仏画師の牧宥恵師と悉曇（梵字）をご教授いただいた児玉義隆師にお願いをいたしました。お二

人とも快くお引き受けくださいました。この十二天屏風に御寄進をいただける方は、一口30万円お願いいたします。牧先生自らお名前を屏風の裏に記してください。また2025年度中には種字曼荼羅も完成いたします。こちらにも一口30万円の御寄進をいただいた方にお名前を記させていただきます。現在定福寺の仏具同様に、代々引き継がれお名前が残ります。ご協力をよろしくお願いたします。



永代供養・永代供養墓

感染症が流行して以来、永代供養と永代供養墓についてのお電話を多く頂戴いたしました。数年前から「墓じまい」の言葉も世の中に出回り、影響が少なからずあったと思います。

大豊町に住む両親や両親父母が他界され、大豊町にある墓地は遠くなり、町外のお住まいの地域の近くに、墓地を移動された方が多くいらっしゃられます。現在お住いの地域で育たれたお子様やお孫様が現在、生まれ育った地域ではなく、県外にお住まいになられている方々も多くなされました。早くに豊永から新しい場所にお住まいになられた方の中には、90歳を過ぎられた方が高知市内出身でご両親が豊永出身という方もいらっしゃると思います。大豊町外にお住まいになられて、お墓を改葬された方が亡くなられた時、県外にいるお子様が近くにということで、お墓を改葬されることがあります。その方に「息子様はどちらにお住まいですか？」とお訪ねすると、「別の県に住み家も建てたので帰ってきません」ということでした。数軒のお宅にお伺いすると、1世代ごとにお墓を改葬していることがわかりました。移動のたびに改葬をされていることに

なります。

「お墓を守る」、「先祖さまに感謝をする」という気持ちを皆様がお持ちなのは、お話をお伺いしたり、お墓参りをされている様子からよく理解できます。しかし、距離的なことや時間的な問題でなかなかお墓参りに行けないという方もいらっしゃると思います。どうしてお墓を守っていたのかを考えた時、誰かがそこに住み続けていて、または誰かがいつかは帰って来るという前提があったからだと思います。

以前も書かせていただきましたが、定福寺に来て一番最初に驚いたのは、「地付きの墓」をご先祖様のお墓の横などで供養をしている様子でした。血縁関係に無い人ですが、その場所に居を構えることができたのは、その先人が土地を開き家を建てていてくださったお陰ということ、一緒にご供養をされているということでした。

定福寺としては、一緒に豊永に住まわれた方、また町外でお寺を思ってくださいくださった方々のお墓が草に覆われる状態は大変寂しいです。

「墓じまい」というのは、このよ

うな社会環境になった現在、お墓を守る

ることが難しくなり、どこかに改葬し、もとの場所からはお墓が無くなることを刺激的な言葉で「墓じまい」と言っているだと思えます。改葬する場所が、お寺や霊園になるということだと思います。

定福寺では、先々代の義光僧正が永代供養墓を建立されています。日本では故人を土に帰すことを大事に考えていました。豊永郷でも土葬が多かったため、葬儀終了後すぐに土に帰していました。定福寺の永代供養墓は定福寺の土、豊永郷の土に帰るといふことになります。永代供養墓と永代供養の方々（お位牌）は毎朝長老とお祈りをさせていた

「笑い地蔵共和国 日本原風体験プログラム」は、定福寺境内の花を摘み活けて、お茶を点ていただくというものです。

お祈りです。永代供養の方々には毎朝ご飯とお茶を差上げお祈りをさせていただきます。永代供養墓近辺はいつも長老が綺麗に掃除をしています。ご相談があれば、いつでも定福寺に問い合わせただければと思います。また神道や他宗の方もお預かりはさせていた

定福寺では、いつでも写経・写仏が行えます。お気軽にお問い合わせください。当日お越しいただいた際、お寺でご法事が行われている時は、ご遠慮いただくことがございます。高知市内の旭観音堂では毎月「仏教講座&写経・写仏会」を開催いた

写経・写仏会



定福寺の仏像

数年前から定福寺の仏像の調査を文化庁の研究機関である独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所の研究員の方と定福寺長老の次女で、国や地方自治体などの依頼を受けて国宝、重要文化財や古文化財の修理を行い、修理技術者を養成し、日本の文化財の保存事業を行なっている公益財団法人美術院仏師で主任技師の高田明が調査をいたしました。

その結果、定福寺の本堂の阿弥陀如来坐像、薬師如来坐像、地藏菩薩坐像、毘沙門天立像、不動明王立像、宝物殿の六地藏、毘沙門天立像が平安時代に造立されたことがわかりました。豊楽寺さまの仏像と同年代ということがわかりました。聖徳太子立像は14世紀に造立されたとなっていました。13世紀に造られたことがわかりました。また定福寺に明治時代に預けられた神像十数体の内数体が平安時代ということも判明しました。

近年の温暖化の影響もあり、本堂の地藏菩薩坐像や不動明王立像に3年ほど前から虫害が発生していました。燻蒸の申請を行い、大豊町、高知県の助力のもと定福寺

のすべての仏さまを燻蒸処理することができました。

燻蒸には本堂の外陣にテントを張り仏さまをテントの中に安置し、ガスを注入し作業員の方が近くに泊まり込み、昼夜検査をしながら処理を行いました。



仏像を本堂へ



仏さまを運んでいた近隣の方々、お檀家様に感謝いたします。ありがとうございました。現在定福寺では、一昨年より本堂、宝物殿1階収蔵庫、2階展示場での温湿度の管理、記録をいたしております。

古文書の整備

2024年度から定福寺に残された古文書の整理を高知県の助成をいただき、高知城歴史博物館さんの協力のもと開始されました。昨年度は皆様からお預かりした古文書の目録、一部史料の解説が作られました。古文書の目録は無料で譲渡できますが、数に限りがあるので先着順になります。内容の解説用紙は、500円での販売になります。郵送希望の方は送料が必要です。お問い合わせは定福寺ホームページからメール、もしくはお電話でお申し込みくださいませ。



各種研修（社員・学校）

定福寺と豊永郷民俗資料館が協働で、各種の研修を執り行なっています。
詳細は左記のQRコードをご覧ください。



節分の開催時期について

節分は節を分ける時期です。旧暦2月3日は本年の新暦では3月2日になります。現在は新暦の2月3日に節分を全国的に行なっています。人口の減少や社会の変化により、平日になることの多い節分にお越しただきづらいことになっています。

そこで、定福寺では本年より新暦2月3日の手前で近い日曜日の2月2日（日）午前10時から、星供護摩祈祷、一豆まき、福木まきを行います。当日のお申し込みも可能です。



当日お申し込みの方で、木札を希望の方は、後日郵送になります。お子様と共にご家族でお越しただければと思います。よろしくお願いたします。下記のQRコードからお申し込みができ、ご祈祷料もお納めいただけます。

胡瓜封じ祈禱

定福寺では毎夏の「土用の丑の日」に胡瓜封じ祈禱を行なっています。胡瓜に悪いものを封じ、翌朝に川に流すというものです。全国で行われていた行事です。



節分星供ご祈祷料お納めフォーム



節分星供お申し込みフォーム

定福寺持仏堂・旭観音堂のご法事について

定福寺持仏堂や、旭観音堂でご法事を希望される方は、自宅でご法事をしてさし上げる用意に準じて、お供え物などのご持参をお願いいたします。

○お位牌

○線香、ロウソク二本

（大きめのものがあります）

○生花、榴（花入れは一对準備しています）

○果物、お菓子（故人が好きなものなど）

御霊供膳（仏さまへのお膳）はお寺で準備いたします。

お集まりになる方が大人数となる場合はお知らせください。

栗生山歓喜院 定福寺チャンネル

お彼岸や土砂加持法要、お盆のご案内の際にお伝えいたしましたように、定福寺では、YouTubeチャンネルを開いたしております。

法要の様子や豊永郷の様子をご覧いただけます。

是非ご覧くださいませ。



YouTube



ホームページ

住職動向(2024年)

1月18日～19日

定福寺不動明王調査
東京都 芝不動尊・真福寺・早稲田大学

21日 高知大学研修

22日 土居瑞先生来寺

26日 高知銀行面談

28日 嶺北高校研修

2月 2日 建築士見学会

7日 大豊学園案内

11日 仏教講座&写経・写仏会

3月 2日 建築士見学会

6日 古文書調査報告会

7日 豊永郷民俗資料館燻蒸作業準備

11日 仏教講座&写経・写仏会

12日 ミュージアムネットワーク役員会

17日 古文書調査打ち合わせ

高知城歴史博物館来寺

20日 建築士見学会

25日 多言語解説設置

26日 高知銀行面談

高知城歴史博物館評議会

4月18日 豊永郷日本の原風景体験ツアー開始

5月 2日 映画「レディー加賀」舞台あいさつ

12日 仏教講座&写経・写仏会

18日 土佐豊永万葉植物保存会 総会

23日 ミュージアムネットワーク総会

24日 大豊町観光開発協会評議会

27日 高知銀行面談

30日 定福寺研修プレゼンテーション(高知市内)

6月 5日 NPO豊永郷民俗資料保存会総会

四国銀行面談

8日 高知大学講師

12日 寺子屋打合せ於金蓮寺

15日 仏像搬出搬入作業

16日から23日

燻蒸作業

17日 高知城歴史博物館 評議会

21日 高知県観光関係者 来寺

26日 牧宥恵師打合せ 於根来寺

7月 1日 高知銀行IR説明会

12日 高知銀行面談

23日 文化財保存委員会

8月 1日 大豊学園新着任教師研修会

3日 高知城歴史博物館 古文書調査開始

9月17日 文化庁来寺

23日 高知県歴史民俗資料館見学

25日 高知銀行面談

10月13日 高知城歴史博物館館長、高知市自由民権館館長、

門田学芸員3名来寺

17日 大川村調査

25日 高知大学講師

29日 本山町職員研修講師

11月7日 ミュージアムネットワーク幹事会

23日 仏教講座&写経・写仏会

25日 ハッピーラフト打合せ

28日 結縁灌頂講習会 於高知市旭観音堂

29日 高知・愛媛青年会合同研修会 於定福寺

30日 れいほく広域観光協議会主催

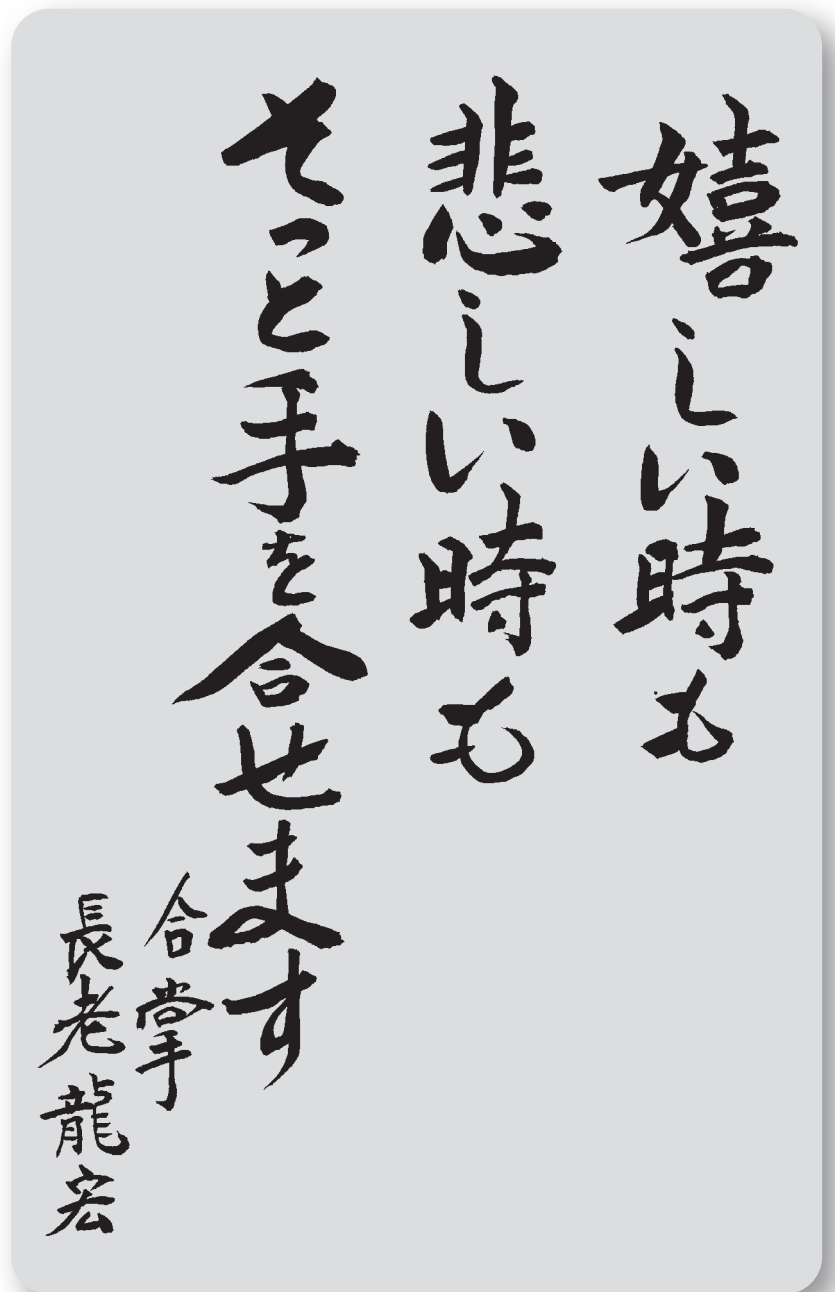
れいほくタクシーツアー案内

12月2日～5日

大阪(各旅行会社への営業)、

東京(定福寺古文調査・芝不動尊調査)福島二ヶ寺訪問

22日 仏教講座&写経・写仏会



講堂建設志納金の感謝録

定福寺檀家、信徒、縁者の皆様には講堂建設へ多大なる御協力を賜っております。御志納に對しまして深く感謝申し上げますと共に、ここに報告申し上げます。

一期・二期・三期・四期と分けてご志納のご予定の方もいらつしやると存じます。どうぞ引き続きご協力をいただきたく、よろしくお願ひ申し上げます。

金額につきましてはこれまで御志納をいただきました金額の総計を載せさせていただきますいております。

尚、「定福寺だより」作成の都合上、令和六年十二月一日までに御志納いただいた方の御芳名を順不同にて載せさせていただきます。ご了承くださいませ。

現在の講堂志納金の総額は
金 八七、三七一、二三三二円
 でございます。

大豊町

沖 一、金 十二万円也

- 前田 大子様
- 高木 叡郎様
- 小松健一郎様
- 小松 正義様

大畑井 一、金 十二万円也

- 西村 澄子様
- 笹岡 修一様
- 西村 明政様

小松カツ子様

一、金 笹岡 愛子様

一、金 三谷勇太郎様

一、金 永森 誉様

一、金 笹岡 洋子様

一、金 三谷 博信様

一、金 三谷 敏文様

一、金 八万円也

一、金 笹岡マリ子様

一、金 六万円也

一、金 永森 高子様

一、金 五万円也

一、金 小倉 高春様

一、金 三万円也

一、金 西村登美子様

一、金 三谷 優子様

一、金 二万円也

一、金 西村サヨ子様

一、金 十二万円

一、金 笹岡香代子様

一、金 三谷ダイ女様

一、金 笹岡 寛様

一、金 六万円也

一、金 大田 昌通様

一、金 三万円也

一、金 渡辺 栄蔵様

一、金 一万円也

一、金 笹岡 信子様

一、金 氏原 菊子様

土居番 一、金 十二万円也

一、金 大田宏一郎様

一、金 三谷 良子様

一、金 三谷三治雄様

一、金 松尾吉太郎様

一、金 藤原 信子様

一、金 九万円也

一、金 小松 憲一様

一、金 五万円也

一、金 藤原千代美様

一、金 三谷志津子様

野々屋 一、金 三十二万円也

一、金 氏原 尋子様

一、金 十二万円也

一、金 小笠原啓元様

一、金 永森 宗雄様

一、金 永森 宗雄様

一、金 小笠原良太郎様

一、金 重森 好文様

一、金 四万円也

一、金 氏原 靖視様

一、金 二万円也

一、金 渡辺 昭子様

一、金 十二万円也

一、金 三谷 敏子様

一、金 五万円也

一、金 笹岡 康之様

一、金 三万円也

一、金 八木 恒子様

一、金 笹岡 孝一様

一、金 二万円也

一、金 吉永 洋子様

一、金 百万円也

一、金 前田幸太郎様

一、金 十五万円也

一、金 前田 波穂様

一、金 十二万円也

一、金 孝男様

一、金 前田 尊博様

一、金 前田 正宣様

一、金 松田 健一様

一、金 三谷 賀彦様

一、金 三万円也

一、金 上地 啓正様

一、金 三万円也

一、金 上地 啓正様

一、金 前田 米穂様

一、金 前田 品子様

一、金 前田 米穂様

一、金 前田 勝水様

一、金 前田 米穂様

一、金 上地 健勇様

一、金 三谷 賀彦様

一、金 松田 健一様

一、金 平石 正宣様

一、金 前田 尊博様

一、金 上地 孝男様

一、金 十二万円也

一、金 豊永 信一様

一、金 十三万円也

一、金 西村 茂頼様

一、金 二万円也

一、金 佐野 保子様

一、金 一万円也

一、金 三谷 常敏様

一、金 十四万円也

一、金 三谷 秋香様

一、金 十二万円也

一、金 小笠原貞雄様

一、金 門田 福實様

一、金 渡辺 伸子様

一、金 森尾 憲一様

一、金 朝倉 榮一様

一、金 川崎 幸男様

一、金 前田 孝雄様

一、金 大田 加代様

一、金 小笠原武生様

一、金 大田 豊様

一、金 六万円也

一、金 久松美知子様

一、金 三万円也

一、金 久松 一男様

一、金 上村 利子様

一、金 永森 栄一様

一、金 森 栄太郎様

一、金 渡辺 君様

一、金 二万円也

一、金 森尾千恵子様

一、金 上村 敏彦様

一、金 十二万円也

一、金 上村 初子様

一、金 岡本 弘様

一、金 佐竹 弘義様

一、金 森本 鈴子様

一、金 永森 広子様

一、金 十二万円也

一、金 渡辺 和子様

一、金 十二万円也

一、金 門田 浩人様

一、金 三万円也

一、金 門田 墨子様

一、金 十二万円也

一、金 小松 浩久様

一、金 岩本 政弘様

一、金 渡辺 幸男様

一、金 藤原 道夫様

一、金 三谷 武昭様

一、金 十二万円也

一、金 小松 浩久様

一、金 岩本 政弘様

一、金 渡辺 幸男様

一、金 藤原 道夫様

一、金 三谷 武昭様

都築 昭仁様
北窪 博章様
都築 茂様

大砂子

一、金 百万円也
北村 光幸様
一、金 二十万円也
中西 正様
一、金 十二万円也
財木 貞広様
中西 大様
中西 一則様
門田 平様
中西 力様
石川 茂様
豊永 信一様
長瀬 澄男様
吉松 英喜様
一、金 六万円也
小笠原光秋様
一、金 三万円也
門田千仁子様
一、金 一万円也
中西 稻美様

桃原

一、金 十二万円也
坂本 国治様
上村 広光様
佐竹 和彦様
上村 好重様
上村 邦仁様
一、金 五万円也
上村 茂清様
一、金 三万円也
上村 良子様
上村 昇一様
上村 永廣様
上村 峰子様
上村 麻喜子様

連火

一、金 十二万円也
秋田 耕一様
松浦 一雄様
上村 幸夫様

川戸

一、金 五十万円也
都築満里子様
一、金 十二万円也
西村 享子様

庵谷

一、金 十二万円也
吉村富由子様
永森 遥子様
白石知代子様
一、金 二万円也
西谷 善利様

安野々

一、金 五十万円也
都築 康博様
一、金 十二万円也
都築 富恵様
都築 俊子様
上地 博子様
上地 仁様

上東

一、金 十五万円也
小笠原美衛様
一、金 十二万円也
三谷 良一様
三谷 幸夫様
三谷 忠幸様
三谷 英榮様
山中 英榮様
一、金 五万円也
山中清和子様
上池 楠於様
三谷 愛則様

黒石

一、金 十二万円也
三谷 水利様
小笠原 清様
西谷 章博様

庵谷

一、金 十二万円也
吉村富由子様
永森 遥子様
白石知代子様
一、金 二万円也
西谷 善利様

高須

一、金 十二万円也
小笠原利友様
徳弘 幸盛様
一、金 六万円也
村山志津子様

中屋

一、金 十二万円也
上地美津男様

穴内

一、金 十二万円也
小林 一美様

小川

一、金 五万円也
山口 京子様

川口

一、金 十二万円也
三谷 和秀様
平石 安央様
佐竹 秀逸様
一、金 三万円也
永森 裕治様
一、金 二万円也
藤原 正豊様

杉

一、金 十二万円也
永森八重子様
中西 純様
一、金 九万円也
田中 極子様
一、金 五千元也
入野 耕一様

高須

一、金 十二万円也
小笠原利友様
徳弘 幸盛様
一、金 六万円也
村山志津子様

寺内

一、金 十二万円也
都築 満男様
三谷 和也様

馬瀬

一、金 十万円也
釣井 直子様
森下 保茂様
久保 慶子様

戸手野

一、金 十二万円也
三谷 豊恵様

中村大王

一、金 十二万円也
上村 誠志様
仲本 健児様

船戸

一、金 十二万円也
山本 富男様

和田目付

一、金 十二万円也
前田 浩二様

高知市

一、金 百万円也
竹林寺住職
一、金 五十二万円也
海老塚和秀様

(有成建設)

一、金 五十万円也
小松 久保様

上村

一、金 四十万円也
土居 瑞様
小笠原悦弘様

寛

一、金 三十二万円也
渡辺 康男様

上地

一、金 三十万円也
幸男様
一、金 二十万円也
北村 真一様
下村 賀基様
一、金 十五万円也
笹岡 廣様
岡崎 園子様
都築 敏郎様
一、金 十二万円也
井上 央様
岡崎 順一様
小笠原郁子様
小笠原育彦様
小笠原喜代子様
小笠原祥一様
小笠原利夫様
小笠原秀郎様
小笠原正様
小笠原光子様
門田 健夫様
上地 正子様
上村 積夫様
上村 積夫様
上村 積夫様
上村 積夫様
上村 賀彦様
上村 義久様

北窪 堅一様
北添ひとみ様
小松 一郎様
佐野 茂様
澤田 美紀様
下村 元明様
高橋 節子様
砂田 英伸様
瀧下 靖夫様
田内喜久世様
中西 清彦様
長野 智晴様
永森 孝弘様
西村 美智様
信高 満恵様
平石 幸子様
平石 甲子郎様
平石 礼子様
平石 君子様
藤田恵美子様
藤原憲一郎様
藤原 恵様
三谷 加子様
三谷 時江様
松田 孝子様
三谷 直行様
三谷 義兼様
三谷 栄男様
森本 晃行様
山崎 豊様
山中 末子様
山中 展子様
山本 光子様
吉永 俊誠様
吉永 英法様
渡辺 茂信様
渡辺 芙佐子様
渡辺 道男様

石本喜久子様
大崎 一男様
徳増 和男様
弘瀬登美子様
岩村 久様
豊永 正富様
門田 速雄様
笹岡 良男様
上田 直人様
氏原 靖夫様
氏原 芳様
大崎 和様
尾立 靖宣様
佐竹 英敏様
白石 重喜様
都築登喜子様
弘田 允英様
三谷 節夫様
南 賀徳様
三谷 禮子様
上村 正男様
西村 正様
藤原 一男様
三谷 一彦様
三谷 純清様
小笠原敏雄様
畦地美知子様
中川 和博様
松田 修昌様
三村 悦子様
南 正様
佐竹 和子様
松田 邦夫様
上村 国之様
三谷 宏様
森岡 俊幸様
岡村 聡様
西村 重美様

一、金

一、金

一、金

一、金

一、金

笹岡 吉市様
上村 和男様
岡村 輝明様
戸田 知恵様
山中 典子様
山本 裕子様
川西 敏子様
上村 満尚様
九万五千円也
九万円也
笹岡袈裟穂様
豊永 啓一様
岡崎 正典様
松岡 末喜様
池内 一之様
三万円也
飯田 順一様
小笠原侶子様
門田 忠様
北窪 康宏様
小松 英正様
小松猪佐夫様
笹岡 朝吉様
永森 利博様
西村 孝様
信高 顕彦様
松高 治吉様
吉村 広様
井口シズエ様
三谷 直美様
酒井 友子様
鶴原 正一様
永野美榮子様
三谷 哲生様
三谷 虎子様

一、金

一、金

一、金

一、金

一、金

一、金

一、金

一、金

一、金

一、金

高野 広茂様
岡本真知子様
三谷 武生様
和田 樹霖様
小笠原由美子様
三谷 晴澄様
三谷 幸正様
宮崎 聖也様
上岡 孝夫様
山崎 匡様
佐野 康典様
上地 一平様
西村 文子様
池 修様
上月 澄様
松高 晴利様
三田 美香様
渡辺 満仁様
北村 幸代様
北村 幸代様
上村 昊子様
永森 光秀様
野村 清様
樟瀬 寛様
都築 太緑様
左代子様
三千元也
柏井 隆弘様
門田 仁様
宗圓 博之様
佐竹 美智様
圭明様
近藤 幹夫様
八木 良一様
一千五百円也

一、金

一、金

一、金

一、金

一、金

一、金

一、金

一、金

一、金

一、金

一、金

一、金

一、金

一、金

一、金

一、金

一、金

一、金

一、金

森下 美和様
濱崎 勝安様
豊永 賀正様
三谷 せつ様
南国市
二十万円也
三谷 三つ様
十五万円也
国分寺住職
林 隆光様
小笠原雪子様
小笠原良一様
金子 糸枝様
門田 利彦様
北村 竝生様
小林 綾子様
佐竹 弘敏様
都築 正子様
豊永 英夫様
西村美津子様
古地 裕和様
前田 和男様
松高 清信様
三谷 政博様
三谷 俊美様
三谷由美子様
村上 三郎様
森本 憲昌様
下村 定様
佐竹 文雄様
永澤 悦穂様
依光 佳景様
大家 福盛様
小林 幹雄様
北村 俊秀様
十万円也

一、金

一、金

一、金

一、金

一、金

一、金

一、金

一、金

一、金

一、金

一、金

一、金

一、金

一、金

一、金

一、金

一、金

一、金

一、金

佐竹 京子様
三谷 富盛様
岡崎ヨシ子様
小笠原美智様
三万円也
岡崎 太助様
森尾 麻依様
豊永 清香様
匿名 様
田淵 能生様
門田 賢一様
三千元也
森下 理志様
香南市
十四万円也
齊藤佐津子様
十二万円也
小笠原昭寛様
小笠原邦彦様
小笠原幹雄様
北村佐智子様
笹岡 寛之様
下村 令子様
大家 正福様
都築 繁美様
西谷 芳信様
中西 静様
三万円也
吉田 安成様
上村 和夫様
一、金
一万円也
小笠原幹夫様
三千元也
二階堂三枝子様

香美市	一、金 十五万円也	岡本雄四郎様	柴田 俊幸様	一、金 十二万円也	下村 宏治様	下村 久夫様	竹崎 太一様	豊永 俊勝様	永森 孝宏様	平石 宮子様	藤原 重博様	前田 昌章様	三谷 茂敏様	三谷 武正様	三村 満男様	岡崎 忠生様	都築 満徳様	上村 美恵様	上村 京子様	匿名 様	一、金 十万円也	株式会社テラムラ	代表取締役 寺村 勉様	一、金 六万円也	平石喜代富様	森本 歳雄様	一、金 五万円也	西村 弘様	三万円也	西村 盛様	三谷 清夫様	一、金 一万円也	溝渕商店様	河野 晶博様	一、金 十二万円也	室戸市
安芸市	一、金 十二万円也	岡本 和恵様	山中 達志様	一、金 一千九七円也	永沢 英季様	土佐市	一、金 十二万円也	小笠原和雄様	須崎市	一、金 十二万円也	山本 芳子様	土佐町	一、金 十二万円也	北村 真一様	一、金 五万円也	三谷美智代様	三谷千代美様	いの町	一、金 十二万円也	門田 広志様	上村 秀夫様	平石 聡様	三谷 敬晃様	岡本 圭子様	一、金 十万円也	金蓮寺 様	一、金 三万円也	河本 麻紀様	四万十町	一、金 一万円也						
北海道	一、金 十二万円也	森本 敏正様	長谷 真平様	福島県	一、金 五千円也	熊坂 敏江様	茨城県	一、金 百万円也	関口 智嗣様	東京都	一、金 三十四万円也	上村 公昭様	一、金 十二万円也	前田 嘉俊様	柳村 真理子様	平尾 修章様	埼玉県	一、金 十五万円也	新留 貴光様	千葉県	一、金 十二万円也	小笠原博幸様	寺石 健児様	石川 陽一様	一、金 三万円也	根本 梨沙様	神奈川県	一、金 百万円也	西村 真紀様							
三重県	一、金 十五万円也	三宅 博子様	上村 智彦様	赤井 智司様	千代様	山川 進様	一、金 三万円也	前田 治男様	一、金 一万円也	大西 崇博様	三千元也	近藤 美夫様	岐阜県	一、金 一万円也	安藤 裕隆様	三千元也	早坂富司子様	愛知県	一、金 十二万円也	鈴木 弘美様	藤原 清高様	久門 仁様	一、金 六万円也	山中 泉様	一、金 三万円也	谷沢 明様	小笠原陽子様	戸松 政直様	照子様	都築友香子様	一、金 一千元也					
滋賀県	一、金 十二万円也	西村 文夫様	日浦 種子様	奈良県	一、金 一百万円也	武藤 恵里様	京都府	一、金 四百万円也	小笠原康夫様	二百万円也	株オープン工業様	三万円也	杉本多美子様	一、金 一百万円也	稲福 善男様	大阪府	一、金 三十万円也	門田 永治様	赤川美津代様	岩本 功様	西村 聖一様	林 育子様	藤原 政直様	釣井 丈様	青木 幸様	上 清文様	竹山計恵子様	川部 正司様	雅子様	一、金 十万円也	西村 高明様					
兵庫県	一、金 五十万円也	垣内 雅子様	岡崎孝之進様	北窪 正典様	三谷 修司様	高田 明様	上地 操一様	白石 昌久様	藤本 功様	小池 宏和様	小池 良子様	中川 守男様	藤原 忠重様	上村 哲彦様	池田 勝彦様	六万円也	伊野原富美様	山崎 博三様	門田 義誠様	五万五千円也	林 幹夫様	一、金 五万円也	上村 まき様	田中 球地様	小松 淳子様	茨木 一彦様	一、金 一万円也	高倉 紘世様	須賀原政幸様	小笠原末男様	八木啓次郎様					

一、金 六万円也
大家 浩二様
一、金 三万円也
高橋 豊様
片山 哲夫様
香川 英里様
一、金 五千円也
圭明様
笹岡 千明様
宝塚市 十二万円也
一、金 吉永 和夫様
岡山県 十二万円也
一、金 三谷 祐功様
吉岡 和子様
一、金 三万円也
坂本 真樹様
里沙様
門田 功様
一、金 二万円也
龍光院 様
白石 安雄様
山口県 十二万円也
一、金 小野 千津様
五万円也
小野 有様
香川県 五十万円也
一、金 小笠原淳也様
十二万円也

一、金 笹岡健太郎様
小笠原 博様
上村 守様
一、金 三谷民主雄様
六万円也
上村 嘉明様
一、金 二万円也
白川 義則様
高橋フサ子様
一、金 一万円也
松本 秀信様
愛媛県 十二万円也
一、金 笹岡正太郎様
下村 忠広様
豊永 信廣様
西村圭太郎様
石川 雅人様
一、金 五万円也
秋山 節雄様
一、金 一万円也
前田 真一様
徳島県 二十万円也
一、金 杉浦 悠太様
十二万円也
岡本 英子様
笹岡千寿代様
中村 義明様
佐加野朱美様
池尻 常様
一、金 八万円也
武井 秦様
一、金 三万円也
北浦 奈都様
北浦 奈々様

一、金 武井 美和様
一、金 一万円也
森 富子様
滝口 晃子様
東 雄三様
一、金 西岡 純男様
七千円也
今市 由野様
一、金 一千円也
加藤 美紀様
福岡県 十二万円也
一、金 大原 啓典様
鹿児島県 三万円也
一、金 大家 英孝様
匿名 一万円也
一、金 三千円也

クラウドファンディングからの御寄付

六十万五百円	大阪府 長谷川将大様	一、金 一万円	大阪府 釣井 丈様	香南市 吉田 沙織様
五十万円	神奈川県 森上 和久様	兵庫県 工藤 哲也様	大阪府 土井 幸様	高知市 村瀬 佐保様
十万円	高知市 楠目 大輔様	兵庫県 立石 真一様	岡山県 岡 信行様	高知市 柴田 尚欣様
高知市 砂田 庄平様	山口県 小野 有様	兵庫県 河合 智矢様	高知市 岡崎 嘉孝様	高知市 知子様
三万円	東京都 平尾 修章様	山口県 小野 律様	高知市 小松えつこ様	高知市 小森 靖久様
滋賀県 浅岡 昭由様	愛媛県 杉本 桂子様	山口県 小野 哲様	茨城県 西村 莉奈様	愛媛県 鈴木 由美様
大阪府 WONG YU YUN 様	高知市 宮本 圭一様	東京都 中島 哲様	東京都 石川 照美様	東京都 崎山 やな様
香美市 橋本 恵様	高知市 西山 公香様	東京都 鈴木 佑香様	東京都 石川 照美様	東京都 崎山 やな様
二万円	愛知県 幸部 吉郎様	兵庫県 香川 桂子様	東京都 石川 照美様	東京都 崎山 やな様
岡山県 坂本 真樹様	北海道 島村 文夫様	愛媛県 香川 桂子様	東京都 石川 照美様	東京都 崎山 やな様
高知市 秋山 和範様	香南市 田村 咲子様	愛媛県 香川 桂子様	東京都 石川 照美様	東京都 崎山 やな様
一万五千円	大阪府 茨木 陽光様	愛媛県 香川 桂子様	東京都 石川 照美様	東京都 崎山 やな様
高知市 伊藤 舞様	いの町 宮尾 賀子様	愛媛県 香川 桂子様	東京都 石川 照美様	東京都 崎山 やな様
一万一千円	静岡県 中野 彩乃様	愛媛県 香川 桂子様	東京都 石川 照美様	東京都 崎山 やな様
	愛知県 神納 杏奈様	愛媛県 香川 桂子様	東京都 石川 照美様	東京都 崎山 やな様
	南国市 濱崎 剛士様	愛媛県 香川 桂子様	東京都 石川 照美様	東京都 崎山 やな様
	三万円	愛媛県 香川 桂子様	東京都 石川 照美様	東京都 崎山 やな様
	神奈川県 平野 亜喜様	愛媛県 香川 桂子様	東京都 石川 照美様	東京都 崎山 やな様
	東京都 長谷川瑞絵様	愛媛県 香川 桂子様	東京都 石川 照美様	東京都 崎山 やな様

御寄付いただいた方の住所について
今回の御芳名は、現住所で記載をいたしておりますが、出身地区で記載を希望される方は、ご連絡ください。この名簿が木札となり、講堂に残るとになります。

寄進、御奉仕への感謝録 志納御芳名

菩提寺興隆、先祖菩提

一、金 壹百万円 也

施主 高知市 都築 宏文 様

粟生聖天尊 新調 御衣 御念珠

一、金 参万円 也

施主 須崎市 山本 泰子 様

年間の行事（おまつり）の前後や年末年始には、初穂米、果物、お菓子、野菜、山菜、砂糖、生花、シキビ等々が届けられます。ご信心な方々には、行事ごとに、当日のお手伝いをしていただいています。また、責任役員様をはじめ、各地区世話人様、節分世話人様、詠歌会の皆様には多大なご尽力をいただいております。

ここに、先祖菩提、仏法興隆の為、謹んで御礼申し上げます。

粟生聖天尊 永代浴油祈禱 志納御芳名

一、金 壹百万円 也

下関市 前田 直巳 様

定福寺のお聖天さまは、商売繁盛・家内安全・当病平癒・開運福寿・学業成就などにご利益があるといわれており、ご祈願が多く寄せられています。お聖天さまの氏子（子供）や信徒（熱心な信者）となり、毎年お札を受けることもできます。

永代浴油祈禱は、申し込みの方が永代受けられるご祈禱です。

永代日牌供養・永代納骨供養 新奉加御芳名

永代日牌供養は、当山持仏堂（弘法大師、興教大師御宝前）にお位牌をお祀りし毎朝ご飯とお茶をお供えいたします。長老と住職が、毎朝お祈りをさせていただきます。年回忌にご案内をお届けし、春のお彼岸にご供養しお塔婆を建立いたしております。また先祖代々としてお申込みいただいた

方は、5年ごとにご案内しご供養を申し上げます。五十回忌の後もお位牌は末代安置され、ご供養をいたしております。

永代納骨は、境内の万霊供養塔にお骨を納めて永代供養を申し上げます。

永代日牌供養

一、施主 高知市 下村 順一 様

大滝 下村家先祖代々 菩提也

一、施主 高知市 土居 瑞 様

土居家先祖代々 菩提也

一、施主 大阪市 藤原 忠重 様

妻 尚子 丁 菩提也

一、施主 高知市 上池 修 様

西土居 上池家先祖代々 菩提也

一、施主 板野町 圓藤 知子 様

母 笹岡千寿代 丁 菩提也

一、施主 善通寺市 上村 守 様

川井 上村家十四霊位 菩提也

一、施主 四万十町 岡本 和恵 様

四万十市 岡崎家先祖代々 菩提也

一、施主 高知市 秦泉寺 教子 様

大砂子 門田家九霊位 菩提也

一、施主 加古川市 笹本 富士雄 様

桃原 上村家先祖代々 菩提也

父 上村 勝 丁 菩提也

母 上村 悦子 丁 菩提也

一、施主 南国市 田所 八重子 様

一、施主 高知市 土居番 三谷家七霊位 菩提也

一、施主 高知市 藤原 達子 様

一、施主 岩原 藤原家二十一霊位 菩提也

一、施主 坂出市 上村 嘉明 様

一、施主 西土居 上村家十三霊位 菩提也

一、施主 北九州市 三谷 龍子 様

一、施主 立野 三谷家先祖代々 菩提也

一、施主 高知市 阿佐 賢子 様

一、施主 高知市 落合 信高 春代 様

一、施主 八畝 信高 春代 様

一、施主 八畝 信高 春代 様

一、施主 八畝 信高 春代 様

一、施主 高知市 井上 洋子 様

一、施主 高知市 井上 洋子 様

一、施主 高知市 井上 洋子 様

一、施主 高知市 井上 洋子 様

一、施主 高知市 井上 洋子 様

一、施主 高知市 井上 洋子 様

一、施主 高知市 井上 洋子 様

一、施主 高知市 井上 洋子 様

一、施主 高知市 井上 洋子 様

一、施主 高知市 井上 洋子 様

一、施主 高知市 井上 洋子 様

一、施主 高知市 井上 洋子 様

一、施主 高知市 井上 洋子 様

一、施主 高知市 井上 洋子 様

一、施主 坂出市 上村 嘉明 様

一、施主 西土居 上村家先祖代々 菩提也

一、施主 北九州市 三谷 龍子 様

一、施主 立野 三谷家先祖代々 菩提也

一、施主 高知市 阿佐 賢子 様

一、施主 高知市 落合 信高 春代 様

一、施主 八畝 信高 春代 様

一、施主 八畝 信高 春代 様

一、施主 八畝 信高 春代 様

一、施主 高知市 井上 洋子 様

一、施主 高知市 井上 洋子 様

一、施主 高知市 井上 洋子 様

一、施主 高知市 井上 洋子 様

一、施主 高知市 井上 洋子 様

一、施主 高知市 井上 洋子 様

一、施主 高知市 井上 洋子 様

一、施主 高知市 井上 洋子 様

一、施主 高知市 井上 洋子 様

一、施主 高知市 井上 洋子 様

一、施主 高知市 井上 洋子 様

一、施主 高知市 井上 洋子 様

一、施主 高知市 井上 洋子 様

一、施主 高知市 井上 洋子 様

一、施主 高知市 井上 洋子 様

一、施主 高知市 井上 洋子 様

一、施主 高知市 井上 洋子 様

一、施主 高知市 井上 洋子 様

祠堂料志納御芳名

祠堂料とは、亡き仏さまへの報恩謝徳と菩提寺の興隆を念じて奉納される浄財です。その御芳志の高徳にお応えして、菩提寺より亡き仏さまに、院居士・院大姉・居士・大姉の法名が届けられます。

一、施主 高知市

一、施主 岩原

一、施主 安野々

一、施主 栗生

一、施主 高知市

一、施主 南国市

一、施主 いの町

一、施主 川井

一、施主 高知市

一、施主 高知市

一、施主 高知市

一、施主 高知市

一、施主 高知市

一、施主 高知市

一、施主 高知市

一、施主 高知市

一、施主 高知市

一、施主 高知市

一、施主 高知市

一、施主 高知市

一、施主 高知市

一、施主 高知市

一、施主 高知市

一、施主 高知市

一、施主 高知市

一、施主 高知市

一、施主 高知市

上村 英輔 様

父 賀彦 様

藤原 寿仁 様

母 充子 様

都築 博富 様

母 富恵 様

小笠原 和行 様

妻 秀実 様

都築 太録 様

母 左代子 様

村上 勝一 様

母 藤野 様

門田 侑也 様

祖母 淳子 様

岩本 昌和 様

父 正弘 様

川井 菩提也

高知市 菩提也

高知市 菩提也

高知市 菩提也

高知市 菩提也

高知市 菩提也

高知市 菩提也

高知市 菩提也

高知市 菩提也

高知市 菩提也

高知市 菩提也

2025年

令和7年度年回表

一周忌	令和6年
三回忌	令和5年
七回忌	令和元年
十三回忌	平成25年
十七回忌	平成21年
二十五回忌	平成13年
三十三回忌	平成5年
五十回忌	昭和51年
百回忌	昭和元年
以下50年目ごと	
仏誕	2591年

永続米（護持会費）の納入についてのお願い（令和7年分）

高知県は廃仏毀釈の影響が凄まじく、真言宗、天台宗を中心に600近くの寺院やお堂が廃寺になりました。吉野川沿岸で残ったのは定福寺だけでした。地域の方々や定福寺に御縁の方々がお米などの食料や仏具などさまざまにお納めいただき廃寺を免れました。その際お米を持ち寄ってくださったものが永続米です。現在でも皆様の支えにより定福寺が維持されています。皆様より平等に集められる永続米は、総本山智積院・智山派高知教区への負担金及び、定福寺の建物や境内の維持管理、広報通信費などに使用させていただいております。東西豊永地区にお住まいの皆様には世話人・地区総代様にお世話になり、地区ごとに納入いただいております。東西豊永以外にお住まいのお檀家の方、また新しくお檀家になられた方には、お手数をおかけしますが、お届けしております振替用紙にてお納めくださいます様お願いいたします。本年からは、下記のQRコードから、クレジットカードによりお納めいただくことも可能になりました。



永続米納入QR

金 1,500 円以上也

1月末までにお納めください

郵便口座 口座記号 **01620-7**
 口座番号 **12426**
 加入者名 宗教法人 **栗生山 定福寺**

キャッシュレス

外国の旅行者の増加により、キャッシュレス決済を導入いたしました。この決済方法の導入により、各ご祈祷やご祈祷料のお納めすることもネットから可能になりました。金融機関に行く時間がない方などにはお申し込みが簡単になりました。また郵送の手間が省け、定福寺ホームページから申し込みが可能になりました。お子様やお孫様にお伝えいただければありがたいです。また、この定福寺だよりも定福寺ホームページからご覧いただけます。是非ご活用ください



除夜の鐘について

定福寺では、毎年除夜の鐘を17時からにいたしておられます。先着108名には番号が記されたお札をお渡しいたしております。是非ご参拝くださいませ。
 また1月1日より3日まで、毎日9時〜と13時から護摩祈禱を行なっています。
 護摩札に願文を書かれた方は、護摩の際に炉の中に yourself、護摩札を入れてもらっています。

連絡先をお伝えください

豊永郷では、人口減少が進んでいます。多くのことは、各地区や近所の方々によって問題解決されますが、緊急事態の時に頼りの方が外出されたり、遠方の子供や孫に連絡を為なければならぬ時があるかもしれません。実際に近年、そのようなことが何件ありました。そのような時のために、お子様や親戚の方などの連絡先をお寺にお伝えいただいております。お寺の住所録に記載し、お寺から連絡をとることができません。連絡をする際は、お寺から直接いたします。別の方に連絡先だけをお伝えすることはありません。

定福寺の諸仏像（県指定 12 体 ○印）・堂宇

定福寺本堂

- 阿弥陀如来像(本尊)
- 薬師如来像(脇土)
- 地藏菩薩像(脇土)
- 不動明王像
- 毘沙門天像
- 十一面観音像(定福寺奥ノ院)
- 不動明王像
- 矜羯羅童子像
- 制吒迦童子像
- 歡喜天像
- 大黒天像
- 妙見菩薩像

宝物殿

- 六地藏(笑い地藏)

- 聖徳太子立像
- 不動明王座像
- 弘法大師座像(御影堂)
- 毘沙門天
- チベット砂曼荼羅・仏具
- 諸菩薩
- 神像

持仏堂(大師堂)

- 弘法大師座像
- 行基菩薩座像
- 興教大師座像

国登録有形文化財

本堂、持仏堂(大師堂)

境内

弘法大師修行像
十三仏像・七福神像
観音像
四国 88ヶ所お砂踏
仁王門
薬師堂
水神
熊野神社

定福寺開創	1302年前
本尊造立	873年前
本堂再建	245年前

令和 7 年 当山年中行事

行 事	日 時
修正会 大護摩祈祷 大般若経転読	1月1・2・3日 午前9時より
七福神まつり	1月7日
節分会(厄はね歳とり) 大護摩祈祷	2月2日 10時
檀信徒年回忌先祖総供養(彼岸中日)	3月20日
土砂加持法要(先祖菩提総供養)	4月1日 14時
加持ヶ峰奥ノ院大師縁日 大護摩祈祷(旧暦3月21日)	4月18日
花まつり(大念珠まわし・百足除札授与・甘茶接待)	5月5日(旧暦4月8日)
蓮まつり(万霊供養) 土佐豊永万葉植物園保存会主催	7月初旬～8月中旬
諸病きゅうり封じ祈祷 土用の丑	7月19日 9時
お盆総供養(迎え火)	8月13日 9時
施餓鬼供養(千体地藏流し・送り火) 東土居川原	8月16日 17時
もみじまつり	11月初旬～12月初旬
粟生聖天結願祭(開運福寿)	11月16日 9時～13時
除夜の鐘	12月31日 17時～
粟生聖天ご縁日	毎月 1日・16日
詠歌会	毎月 1回
写経会と仏教講座	毎月 1回

御法事を営まれる際はなるべく早目にお申し込みくださいますようお願いいたします。
(友引は葬儀、法事は執り行いません) お塔婆は1本2,000円です。

発行所

真言宗智山派
宗教法人 粟生山 定福寺
〒789-0167 高知県長岡郡大豊町粟生158
TEL 0887(74) 0301 FAX 0887(74) 0302
HP: jofukuji-kochi.jp

郵便口座 口座記号 01620-7 口座番号 12426
加入者名 宗教法人 粟生山 定福寺

住職	住職	住職
長老	長老	長老
法類総代	法類総代	法類総代
竹林寺住職	竹林寺住職	竹林寺住職
責任役員	責任役員	責任役員
下村 堯基	下村 堯基	下村 堯基
責任役員	責任役員	責任役員
小笠原俊一	小笠原俊一	小笠原俊一
地区護持会	地区護持会	地区護持会
代表会	代表会	代表会
遍照講詠歌会講員	遍照講詠歌会講員	遍照講詠歌会講員
一同	一同	一同

令和七年

乙巳



さら (なつつばき)

ツバキ科 (木本類)
落葉高木 花期は6月~7月
白色一重。夕方落ちる一日花。
サラソウジュとも呼ばれるが
別種。

写真:岡田憲佳



ナツツバキの紅葉

ナツツバキは、夏にツバキに似た白い花を咲かせることからついた名前です。日本と朝鮮半島が原産地で東北南部から九州にかけての山地に自生します。庭木としても広がっています。樹高は十〜二十メートルにもなります。葉は秋には紅葉し、多くは橙色ですが条件が良いと赤くなるものもあります。

定福寺の境内には四か所で、ナツツバキを観ることができます。本堂の西側、浄土池奥水掛地蔵尊の近く、仁王門階段を降りて淡墨桜の横、民俗資料館東側万葉池の近くです。

夏には沢山の白い花をつけ、秋には紅葉で楽しめます。是非、定福寺境内でお楽しみください。

…このゆゑに、**維摩大士**は玉体を方丈に疾ましめ、**釈迦能仁**は**金容を雙樹**にかくしたまへり…

山上憶良 (万葉集巻五)

歌意…それ故に、維摩大士は尊い体を方丈のへやに横たえられたし、釈迦如来は貴いお姿を沙羅双樹の中にお隠しになられた…

山上憶良が病に沈んで自ら悲嘆した文です。七十四歳になる憶良は伯耆守 (今の鳥取県倉吉市に国府があった) 終えて以来十年間、慢性の関節リュウマチを患っていました。「金容」はお釈迦さまの尊称。「さうじゆ」はサラソウジュのこと。日本ではナツツバキに当てられています。万葉集のなかでサラがみえるのはこの文のみです。

境内紅葉のご案内

昨年は暑さが長く続き、紅葉の見頃は11月下旬となりました。本堂前の300年生の背の高い紅葉は中旬には紅葉しますが、境内全体としては遅れて色付きました。西陽の当たる時間も楽しめます。また、ヤマガラもたくさん来るようになりました。参拝者の方はヒマワリの種をあげて楽しんでいます。



本堂前の大モミジの紅葉



仁王門からの境内の様子



境内に遊びにやって来る
ヤマガラ

